

平成 25 年度決算特別委員会で登壇 空き家対策や鴻臚館跡展示場などを質問

平成 26 年 10 月 8 日から 24 日までの 17 日間、開催されました 25 年決算特別委員会にて総会質疑の後半 10 月 23 日に登壇いたしました。質疑の内容は次の 3 点です。



◆決算特別委員会での発言シーン◆

◆生活保護と障害年金について◆

福岡市の保護費の決算額は、794 億円余で 4 万 3 千人を超えています。その保護費の内、何らかの年金を受給されている人は 9,700 人となり国からの補助率が違ってきます。そこで障害年金等を受給できる人がまだいないか、ケースワーカーのレベルも含めて質しました。

また職員 1 人当たりの担当が 99 人に上っている点を指摘し、次年度には職員を増加させるなど人事配置の見直しを要請いたしました。

◆空き家対策条例の運用状況について◆

昨年、市議会議員の全員賛成で空き家条例が制定されました。但し実効性は行政当局に任せられているため運用が適正に行われているのか質問しました。昨年危険家屋数が 62 件あったのが税務担当も協力したことで 19 件が解決しました。市長名の指導文書送付や空き家の解体と市場流通についてリ-フルトを今年度作成し納税者に送付する取り組みがはじまります。

◆鴻臚館跡展示場の状況について◆

昭和 63 年から平和台野球場跡の発掘調査がはじまり 26 年間で 11 億円の費用がかかっています。今年度には基本構想がまとまり 27 年度から整備基本計画の中でスケジュールや整備内容が決まっています。今回の質疑では、観光資源としてどう活用するのか質問しました。

まず 11 月にガイダンス施設として、元舞鶴中学校跡地に「三の丸スクエア」としてオープンさせる事が発表されました。発掘調査地では鴻臚館展示館や画像を通してかつてはこのような建物があったのではと来場者にバーチャル体験も行っています。



◆パネルを使用しバーチャル画像を説明◆

博多湾全体が当時鴻臚館の関連施設があったといわれ東区の海の中道遺跡が食の台所であったと今では言われています。今後、セントラルパーク構想を推進していくうえで市民の憩いの場として親しまれるよう、集客・交流の拠点となるよう整備に取り組むとの高島市長からの答弁がありました。皆様もぜひ三の丸スクエアや鴻臚館跡に訪れてみてください！

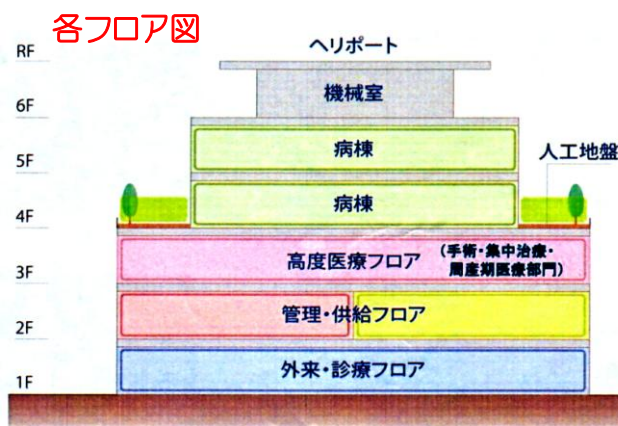
新・こども病院がアイランドシティに完成 いよいよ平成26年11月に開院

平成26年11月アイランドシティに新こども病院が開院しました。この整備で手術待ちだった子どもたちも適切な治療を早く受けられるようになりました。また東部地域の子ども医療の体制が整えられるとともに、西部地域の子ども医療も浜の町病院や福大病院といった施設の連携で体制が整うこととなります。

新こども病院は、以前と比べて敷地面積が約2倍になり、集中治療室も一変、どこよりも安心・安全な医療環境が整いました。

新生児室が19床から36床へ、さらに集中治療室・重症治療室が33床に拡充整備されました。手術室も3室から7室へ増えました。

一般病床についてはご家族と一緒に過ごし易いよう大幅に個室が増えております。あと、災害・非常時に備え、高度な免震装置、ヘリポートが屋上に設置されております。



喜界町に農業の6次産業化と地下ダムを視察

◆ 喜界島の地下ダムを視察 ◆

平成26年6月、鹿児島県の喜界町に「地下ダム」の視察を行いました。離島ならではの課題として、水の安定供給があります。これまでは日照りが続くと断水を余儀なくされていましたが、地下ダムが完成することで安定供給することが可能になりました。



地下19mのトンネル内部通路の左側に水がためられています(左)

喜界町の広報誌に紹介されました(下)



喜界島は、珊瑚礁が隆起してできた島です。サトウキビの栽培が盛んで、珍しい熱帯の蝶が息することでも有名な、自然豊かな島です。

◆ 農業の6次産業化を視察 ◆

喜界島は、これまで、サトウキビの生産が主力でしたが、台風など自然災害で全滅の危機にたびたび襲われていました。そこで、台風の影響が少ないゴマの生産をはじめました。生産をしてみると製品の質が良く、全国トップクラスで評判を呼ぶようになりました。意欲のある生産者には農業試験場のブースを貸して、次の製品を開発中でした。農家の収入確保のため、様々な製品の開発が重要との考えで町をあげて取り組んでおりました。

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい
TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

福岡市生まれ(56歳)

H15.4 初当選

H23.4 3期目当選

